

登録コード	L1641202	開講年度	2026				
担当教員	松本 昇		副担当				
授業科目	心理学特殊実験						
英文授業名	Psychology : Advanced Experiments						
授業タイトル	心理学特殊実験						
単位数	2	対象学生		講義期間	後期	曜日・時限	金曜・4時限 金曜・5時限
講義室	人文205 演習室		遠隔授業科目		読替科目	読替科目は履修案内を確認すること	
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素			【授業の達成目標】			
	2022Lカリ, 2021Lカリ						
	【2022年度以前加付対象】自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力			自明とされる事柄に対し、深くその根拠を問い直し新たな認識を構築できる思索力が身につくようになる。			
	【2022年度以前加付対象】過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力			過去の英知の批判的継承のうえに立って創造的な未来を切り拓く開拓力が身につくようになる。			
	【2022年度以前加付対象】情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシー			情報を適切に集約・分析・表現できる高度なメディアリテラシーが身につくようになる。			
	2026Lカリ, 2025Lカリ, 2024Lカリ, 2023Lカリ						
	【2023年度以降加付対象】人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身についている。【思索力・受容力・批判力】			人文学部人文学科の学士（文学）の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力が身につくようになる。			
授業で学べる「テーマ」	その他						
全学横断特別教育プログラム							
授業の概要	認知臨床心理学における研究がいかにして行われるか、その全体的な流れを学びながら、自らの問題意識を整理し、リサーチ・クエスションとして表現し仮説にする。さらに、仮説を検証するためのデータ収集の方法を決定し、実験や調査のための手続きや質問紙を構成する。論文執筆にあたっての知識を蓄えるために、データ収集や分析と並行して、自身のテーマに関連する英語論文を読み、要点をまとめて発表する。 このような一連の研究遂行をしていく中で、グループ・ディスカッションを行い、自らの問題のみに終始することなく、学んだことを全体の知としてフィードバックすることで、受講生相互に刺激を与え合う授業構成とする。						
授業計画	1. ガイダンス：実験・調査実施、分析、論文作成という一連の流れを学ぶ 2. 実験・質問紙の確認(1)：実験・質問紙について発表し、確認する 3. 実験・質問紙の確認(2)：グループ・ディスカッションによって、実験・質問紙を確定する 4. 実験・調査の実施(1)：実験・質問紙の準備をする 5. 実験・調査の実施(2)：実験・調査を実施し、データを収集する 6. 実験・調査の実施(3)：引き続き、実験・調査を実施し、データを収集する 7. 実験・調査の実施(4)：収集されたデータを基に、データセットを作成する 8. 結果の分析と考察(1)：データ分析の概要を学ぶ 9. 結果の分析と考察(2)：統計ソフトウェア（HAD、JASP、R）の操作方法を学ぶ 10. 結果の分析と考察(3)：統計ソフトウェア（HAD、JASP、R）を用いて、データを分析する 11. 結果の分析と考察(4)：仮説検証のための分析を行う 12. 結果の分析と考察(5)：分析結果を解釈する 13. 研究成果のまとめと論文の作成：研究成果をレポートとしてまとめ、それに対する講評に基づいて修正する 14. 研究成果の発表 15. まとめ、授業アンケート 定期試験なし						
成績評価の方法	出席および授業への積極的参加（50％）と論文の質（50％）により、心理学研究の実践方法の理解度を評価する。						
成績評価の基準	論文については、「問題」「目的」「方法」「結果」「考察」「引用文献」のそれぞれが明確に項目立てされており、各項目について以下のような内容が記述されていることが必要である。 1. 問題・目的で、当該論文で何を問題・目的とするのかが明確に記述されている 2. 方法で、実験・調査の対象、材料、手続き等の要点がもれなく記述されている 3. 結果が、実験・調査の結果について事実に即して忠実に記述されている 4. 考察で、得られた結果が論理的に解釈され、結論に至るまでの過程が記述されている 5. 引用文献が、所定の表記法（手引き参照）で記述されている 6. 論文全体が、自分の発見などを人に伝えるための適切な形式になっている 1～6までの5項目を満たしていれば「かなり上にある」、4項目であれば「やや上にある」、3項目であれば「その水準にある」と評価する。						

事前事後学習の内容	自分が取り組む研究テーマについて、CiNiiやPsychINFO等を用いて、広範に検索し、先行研究を見つける。その際、キーワードの設定の仕方を工夫するなどして、繰り返し検索し、自分の関心により近い論文を見つけることができるスキルを身につける。 そのようにして見つけた論文を十分に読み、さらに、その論文に引用されている文献も芋づる式に読み、先行研究に関する知識を十分に蓄える。 実験や調査は、実施日を考慮し、早めに準備をする。 最終レポート執筆の際には、図表や引用文献の整理など、案外時間がかかる作業があることを考慮し、早めに執筆に取りかかる。
履修上の注意	「心理学基礎実験」、「心理学基幹演習」、「心理学特殊実験」を履修した者を対象とする。心理学・社会心理学コースで卒業論文を作成する者は、心理学・社会心理学コースのいずれかの教員によるこの授業を必ず受講すること。 この授業の多くはオンライン形式で行われる。
質問、相談への対応	火曜の昼休みをオフィスアワーとするが、それ以外にもメールで連絡をしてもらえれば、個別に対応する。連絡先などについては、初回の授業中に伝える。
教科書	各自、自らの研究テーマに沿った論文を収集し、関連する最新の文献を随時チェックすること。
参考書	授業中に適宜紹介する。